

24年度税関380人採用で入所式

■税関研修所

税関職員の採用者数推移 (単位:人)					
採用年度	総合職	一般職 (大卒程度)	一般職 (高卒程度)	中途採用者 選考試験 (就職氷河期世代)	合計
2021年度	8	269	113	3	393
2022年度	6	211	107	3	327
2023年度	7	202	94	3	306
2024年度	6	250	122	2	380

税関研修所は3日、千葉県柏市の本所で2024年度税関新規採用職員を対象とした研修の入所式を開催した。採用職員数は380人で、23年度の306人から大幅に増加した。全国9税関(函館、東京、横浜、名古屋、大阪、神戸、門司、長崎、沖縄地区)の採用職員は、研修を経て、密輸の水際取り締めりや輸出入貨物に係る通関業務など、税関業務の最前線で勤務を開始する。

入所式で江島一彦所長(財務省関税局長)は、税関の3つの使命の「安

研修生代表の
答辞の様子



全・安心な社会の実現」、「適正かつ公平な関税などの徴収」、「貿易の円滑化」について述べた上で、「研修中、税関職員としての誇りと自覚を持ち、専門的知識の習得に加えて、プロフェッショナルとして成長していくため、自ら学び、考える習慣を身に付けて頂きたい」と訓示した。研修生代表は答辞で、「常に目的意識を持って、積極的に研修に取り組み、今後、

税関に課せられた使命を果たし、国民の期待に応えることができる税関職員となる」と誓った。

研修期間は総合職が2週間程度、一般職のうち大卒程度が2.5カ月程度で高卒程度が6カ月程度。また、就職氷河期世代を対象とした中途採用者選考試験での採用者は2.5カ月程度。公務員としての責務や税関職員として必要な知識と技能を習得する。